

題名を記入[14pt]

副題を記入[10pt, なければ詰める]

[1行空き]

ENGLISH TITLE ENGLISH TITLE [10pt]

English Sub title English Sub title [9pt]

[2行空き]

設計 太郎 | Sekkei Taro^{*1} 設計 花子 | Sekkei Hanako^{*1} 設計 次郎 | Sekkei Jiro^{*1} [10pt]

[2行空き]

[2行空き]

In a previous paper, the authors proposed some techniques for the design of nonlinear self-excited systems. In this paper, the applicability of the [8pt, 行間 13pt] (英文概要は、150 英単語程度でまとめる.)

[1行空き]

Key Words | self-excited system, nonlinear system,vibration, simulation [8pt]

(キーワードは、英文概要の次に、すべて小文字で書く.)

[2行空き]

[2行空き]

1. 基本事項 (ここに章名) [10pt]

[1行空き]

[基本事項]用紙は、B5 変形サイズ (247mm×182mm) とし、マージンは指定通り (上 13mm, 下 17mm, 左右 13mm) にとる。二段組とし、それぞれ 20 字、段間は 2 字とする。

[フォント・サイズ]本文にはすべてゴシック体を使用する (本フォーマットでは MS ゴシックとしている) が、最終的にはデザイン性を考慮し、他のフォントに置き換えられて印刷される。フォントサイズは、章名 10pt, 節名 9pt, 本文 8pt とし、章名・節名はそれぞれ後 1 行を空行とする。また各章の終わりには 2 行空行、各節の終わりには 1 行空行とする。

[2行空き] (1 頁に左段下寄せで執筆者情報を記載する)

[2行空き]

*1 日本建築設計大学工学部 [8pt, 行間 13pt]

(〒XXX-YYYY 新宿区百人町 2-22-17)

School of Engineering, Nihon Kenchiku Sekkei University

Email: ****@NKS-u. ac. jp

[1行空き]

*2 設計製図(株)設計部

(〒XXX-YYYY 千代田区お茶の水 1-1-1)

Design Division, Sekkei Seizu Ltd.

Email: ****@SS. co. jp

[1行空き]

*3 設計製図(株)設計部

(〒XXX-YYYY 千代田区お茶の水 1-1-1)

Design Division, Sekkei Seizu Ltd.

Email: ****@SS. co. jp

ただし、章や節が用紙の最上段 (最下段が章名や節名にならないよう) になった場合は、前の文章と 1 行空けないで第 1 行目に書く。なお本文の行間は 13pt 以上 (最小値) とする。 ※文字数を規定頁数に収めるために行間は詰めることは認められない。

[1行空き]

1. 1 表記のルール (ここに節名) [9pt]

新しい段落はこのように 1 コマ字下げしてから書く。文章の区切りには、読点としてカンマ「,」を、句点としてピリオド「.」を用いる (括弧を付して補足説明する場合は、この例のように本文の句読点の前に括弧を挿入し、括弧内の文章の最後には句読点を付けない)。

数字は 1 ケタの場合は全角、2 ケタ以上の場合には半角を用いることを原則とする。ただし数式等で用いる場合はこの限りではない。英字や記号などは、1 コマに 2 字記入してもよい。文献番号は、1)、2) または 3) ~ 8) のように上付文字で書く。

[2行空き]

[2行空き]

2. 図表の書き方

[1行空き]

本文と図表の間は、前後 1 行ずつ空ける。また、以下の例のように、図番・図名は図の下に配置し、表名・表番は表の上に配置する。

図名、表名は、英語あるいは日本語で記述する。また、図番および表番はそれぞれ、Fig. 1, Table 1 のように通し番号を用いる。本文中で引用するときは、図 1, 表 1, . . . とする。

図の例 1

(大きな図の場合は、このように段組み遮って挿入してもよい)

Fig. 1 図版キャプション

[1行空き]

また、図表はできるだけ上下左右のいずれかに寄せて配置するとよい。図表中の語句（キャプション）はすべて 7pt 以上の大きさで、図表名の言語に合わせた言語で記述する。採用言語は統一のこと。

[1行空き]

Table 1 表キャプション

表の例	表の例
表の例	表の例
表の例	表の例

[1行空き]



Fig. 2 図版キャプション

(他の文献から転載したときは図名の直下に、「文献 8) から転載」等と明記すること)

[2行空き]

[2行空き]

3. 式の書き方

[1行空き]

式は、左端より 3 コマ以上空けて書き、式番号は括弧を付して右端に書く。例えば、

$$a = b \sin \alpha + c \tan \beta \quad (1)$$

のようである。ただし、

$$b = \frac{d(e+f)}{g+h} \quad (2)$$

分数を書くときは、式(2)のような表記法を用いる。ただし、本文中に記述するときは、 $b = d(e+f)/(g+h)$ とする。

4. おわりに

[1行空き]

以上に述べたように、原稿執筆において注意すべき事は、読者が読みやすいように配慮することである。

[2行空き]

[2行空き]

参考文献

- 1) 設計太郎, 製図次郎: CAD 設計論, 設計工学, 28, 13 (1995), 563. [和文雑誌の例]
- 2) Jones, P., Young, T. and Thomson, G.: Analysis and Design of a New Bearing, J. Machine Element, 43, 13 (1992), 145. [英文雑誌の例]
- 3) 設計花子: 機械設計の理論と応用, 新聞東書籍 (1990), 236. [和文書籍の例]
- 4) Douglas, A.E.: Introduction of Mechanical Design, New York Pub. Co. (1993), 53. [英文書籍の例]
- 10) 日本設計工学会 編: 設計の原理, NPC 出版 (1994), 123. [和文書籍 (編集) の例]

註

- 註 1)
註 2)
註 3)